

デジタル田園都市国家構想交付金【推進タイプ(旧地方創生推進交付金)】令和4年度事業 実績検証シート

No	① 交付対象事業の名称 (創生プランでの分類)	② 事業の概要	③ 事業の概要(経費内容)	④ 交付金の種類	⑤ 事業費	⑥ 交付金充当額	⑦ 本事業における重要業績評価指標(KPI)		⑧ 本事業終了後における実績値		⑨ 実績値を踏まえた事業の今後について		⑩ 外部有識者からの評価	事業担当課
							指標	目標値(R5.3)	実績値(R5.3)	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由		
1	「恋人の聖地」広域市町村連携によるデジタル・シティプロモーション事業 (基本目標:Ⅲひとと呼び込み活力創生)	『恋人の聖地』を有する市町村のうち、広域連携によるデジタル・シティプロモーションによる地方創生事業に賛同する18市町村が連携し、次の事業を実施する。 ①広域市町村連携シティプロモーション事業(SNS等の活用のためのポータルサイト等の基盤整備事業) 18市町村が共同活用できるプラットフォーム、SNS、共同制作物等を整備する。 ②各市町村の連携シティプロモーション事業 独自のシティプロモーションを実施し、18市町村が連携を図る。 ③地域産業拡大事業 回遊プラン整備、イベント等を通して恋人の聖地をはじめとする地域の魅力を向上させる。 ④情報ネットワーク・地域活性化事業 都市圏からの共同誘客ネットワーク構築(協働イベント実施、PR事業等の実施) 【事業期間:令和3年度~令和7年度】 【地域再生計画:令和3年度~令和7年度】	①SNS等の活用のためのポータルプラットフォーム基盤整備事業【負担金】2,500,000円 (1)共同PR・プロモーション事業 (2)プラットフォーム企画展開事業 (3)ポータルサイト基盤事業 (4)事務局・部会等運営費 ②市町村連携シティプロモーション事業【補助金】662,500円 (1)恋叶ロード誘客情報発信事業 (2)女子旅EXPO出展 ③市町村の連携地域ブランド・産業拡大事業【委託料】500,000円 (1)地域資源「恋人の聖地」ブランド新プラン開発事業費委託費 ④市町村の連携デジタル活用・地域活性化事業【補助金】6,768,693円 (1)メディアと連携した商品PR (2)恋叶ロードの日誘客イベント (3)観光PR動画作成 (4)サウナフェス (5)長崎鼻景観づくり事業	推進	21,625,000円	10,431,193円	指標① 観光入込数【R4増加分】	253,500人	104,105人	地方創生に効果があった	事業の継続	目標を達成しなかった指標があるものの、連携事業全体ではKPIを達成している。今後は、SNS等による情報発信、雑誌・メディア掲載、著名人とのコラボ等を絡め、さらに全国18の参画市町村と広域連携も図りながら、さらなる誘客促進に取り組む。	地方創生に効果があった	商工観光課
2	国東半島の鬼などの文化資源を活かした地域の賑わい創出事業 (基本目標:Ⅱひとを大事に活力創生)	①旅行、体験をインターネットで予約・決済ができるシステムの構築を行う。 ②企画する個人旅行を造成するためのガイドの育成を行う。同じ戦略の下で、旅行運営を実施するための準備を行う。 ③重点地区を長岩屋谷・田染荘・香々地谷・両子谷として、地域産品のブランディングを行う。具体的な手法としては、商品開発・パッケージデザイン・ブランディングのためのストーリー作成などを行う。 ④各地の催事に出展する際に、地域文化財を使ったブランディングを行うためのイーザーアップテント等を制作する。 ⑤動画制作の素材として、Vtuberとして稼働するためのキャラクターのデザイン、3Dモデルの制作を行う。地域内にチームを結成し、動画制作にあたる準備を行う。 【事業期間:令和3年度~令和5年度】 【地域再生計画:令和3年度~令和5年度】	①ホームページ改修事業【委託料】1,650,000円 ②くにさきガイド育成事業【委託料】500,000円 ③谷のブランディング・商品開発事業【委託料】1,235,832円 (1)かぼすの生七味の製造フロー支援、パッケージデザイン (2)田染の米と水の日本酒開発、パッケージデザイン (3)赤鬼ケジャン・黒鬼ケジャンの開発・パッケージデザイン (4)くにさきクラフトジンレシピ開発、農業検査 (5)海のレッドカレー、山のグリーンカレーレシピ開発 (6)廃棄物で汁の蟹出汁フイヨンのレシピ開発 (7)ザッコエビの海老フイヨンのレシピ開発 ④POPUPショップ制作事業【委託料】750,000円 ⑤情報発信環境整備事業【委託料】750,000円	推進	11,500,000円	4,867,882円	指標① 六郷満山日本遺産推進協議会の収益事業(体験プログラム運営、物販事業、寄附事業など)による売上(事業開始前:1,200千円)	3,700千円	2,440千円	地方創生に相当程度効果があった	事業の継続	目標を達成しなかった指標があるものの、各項目で過去最多にはなっており、令和4年度に開発した特産品の販売実績が令和5年度以降から発生するなど、更なる増加が見込まれるため。	地方創生に相当程度効果があった	文化財室

デジタル田園都市国家構想交付金【推進タイプ(旧地方創生推進交付金)】令和4年度事業 実績検証シート

No	① 交付対象事業の名称 (創生プランでの分類)	② 事業の概要	③ 事業の概要(経費内容)	④ 交付金の種類	⑤ 事業費	⑥ 交付金充当額	⑦ 本事業における重要業績評価指標(KPI)		⑧ 本事業終了後における実績値		⑨ 実績値を踏まえた事業の今後について		⑩ 外部有識者からの評価	事業担当課
							指標	目標値(R5.3)	実績値(R5.3)	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由		
3	「地域で健康づくり」応援事業 (基本目標: IIひとを大事に活力創生)	行政や社協等の関係機関が、認知症予防に効果的な運動メニュー等をサロン活動の中で実践することにより、サロン活動の機会の増加と、地域ぐるみの健康づくりの機運を醸成するとともに、広く認知症予防に関する知識の普及啓発を図る。 ①専門機関(千嶋病院)へ「あたまを使った運動プログラム」の普及員となる運動推進員の養成を委託 ②認知症予防に効果のある運動以外のメニュー(口腔ケア・回想法・栄養)を専門職のいる社協に委託 ③サロン参加者の身体状況を把握するため、フレイルチェック(歩行・握力・アンケート)を実施 ④サロン内で活動した運動推進員に対する謝金及び活動に伴う傷害保険料を負担 【事業期間: 令和2年度～令和4年度】 【地域再生計画: 令和2年度～令和4年度】	①運動推進員の養成事業 22,500円 (1)運動推進員の養成及びスキルアップにかかる経費 ②運動推進員の効率的な運用事業 99,500円 (1)TMKチャレンジクラブによる運動推進員の巡回指導 ③運動の習慣化チェック 72,422円 (1)運動推進員に対する謝礼 (2)ボランティア保険料 (3)習慣化チェック等に係る公用車ガソリン代 ④関係機関との連携事業 668,800円 (1)社協による口腔ケア等運動以外のメニューの実践 (2)TMKによる専門的な運動の実施 ⑤効果測定・結果に基づくアプローチ 232,165円 (1)健康チェックにかかる経費	推進	2,190,915円	1,095,457円	指標① 養成された運動推進員数 (事業開始前: 9人)	24人	26人	地方創生に相当程度効果があった	予定通り事業終了	参加者の大多数が高齢者ということから、コロナ禍の影響を強く受けたため、目標を達成しなかった指標があるものの、興味を示すサロンが増えるなど、一定以上の成果が見られた。引き続き、事業の継続を図っていきたい。	地方創生に相当程度効果があった	社会福祉課
4	働きやすさ改革によるしごと創出事業 (基本目標: IV仕事をづくり活力創生)	最重点施策である定住人口の増加を図るため、女性や障がい者、高齢者など誰もが働きやすい環境整備を行い、新たな就業、雇用の創出を図る。 ①ITを活用した女性の雇用創出を図るため、女性雇用を促進している企業へのPR動画の作成を委託 ②通勤が困難である障がい者の送迎事業に対する広報費や運営費を補助 ③高校生対象の市内事業所見学会の開催費を補助 ④外国人が入居できるアパートの改修費用を補助 【事業期間: 令和2年度～令和4年度】 【地域再生計画: 令和2年度～令和4年度】	①ITを活用したお母さんが働きやすいしごとの創出事業【委託料】 1,000,000円 (1)本市の住みやすさ、子育てしやすさ、働きやすさの魅力発信動画作成 ②障がい者の自立支援に向けた働きやすさ改革事業【負担金】 450,000円 (1)障がい者送迎事業運転事務経費 ③高校、短期大学、大学生の地元就職の促進事業【負担金】 15,390円 (1)工場見学会開催費用	推進	1,465,390円	732,000円	指標① 子育て世代の女性の就業率 (事業開始前: 77.8%)	79.8%	83.3%	地方創生に相当程度効果があった	予定通り事業終了	市雇用対策協議会やハローワーク、商工会議所等の関係団体と連携を図りながら、子育て世代の女性や障がい者、地元高校生、外国人等の多様な人材の雇用の場を創出を図るための環境整備を引き続き行っていく。また、市独自の求人HP「ほっとナビ」の求職情報発信機能の充実化を図り、求職者と求人とのマッチング強化に取り組み、効果的な就業機会を提供し、求職者の就業につなげていく。また、移住者に対しても、移住直後から仕事に就けるよう状況に応じた伴走支援を行っていく。	地方創生に相当程度効果があった	商工観光課
5	豊後高田昭和の町リ・ブランディング事業～次代へつなぐまちづくり～ (基本目標: IIIひとを呼び込み活力創生)	①昭和の町リ・ブランディング計画実施支援業務 ・「昭和の町」リ・ブランディングプランに基づいた2年目事業での結果の分析を踏まえて地型体験コンテンツの開発及び販売支援の拡大を図る ②昭和の町ブランド向上イベント促進事業 ・昭和の町ブランド定着イベント(年5回) ・昭和の町商店街振興支援イベント(年5回) ③昭和の町誘客促進プロモーション事業 ・SNS及び広告媒体を活用した情報発信 ・リ・ブランディング計画に基づく情報発信 ④昭和ロマン蔵リニューアル事業 ・顧客ニーズに合わせた商品陳列・レイアウト等魅力創出 ⑤昭和の町経済波及効果推計事業 ・発生需要額のデータ分析 ・経済波及効果の推計 ・報告書の作成 【事業期間: 令和2年度～令和4年度】 【地域再生計画: 令和2年度～令和4年度】	①昭和の町リ・ブランディング計画実施支援業務 2,970千円 ・インフルエンサーによるSNSを通じた情報発信 ・若年層に人気の文具メーカーとタイアップした商品開発 ②昭和の町ブランド向上イベント促進事業 5,486千円 ・昭和の町ブランド定着イベント 4,696千円 ・昭和の町商店街振興支援イベント 790千円 ③昭和の町誘客促進プロモーション事業(くり株) 3,067千円 ・SNS及び広告媒体を活用した情報発信 1,487千円 ・リ・ブランディング計画に基づく情報発信 1,580千円 ④昭和ロマン蔵リニューアル事業 2,997千円 ・顧客ニーズに合わせた商品陳列・レイアウト等魅力創出 ⑤昭和の町経済波及効果推計事業 550千円 ・発生需要額のデータ分析 ・経済波及効果の推計 ・報告書の作成	推進	15,069,020円	7,534,510円	指標① 昭和の町年間来街者数 (事業開始前: 376,000人)	411,000人	248,522人	地方創生に十分な効果が得られなかった	予定通り事業終了	新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けたことにより事業的には非常に厳しい状況であった。今後においては、昭和の町リ・ブランディング計画に基づき、商店街との連携により着実に実行していきたいと考えており、新たな価値の創造とターゲットに向けて効果的な情報発信により、積極的な事業展開を図る。	地方創生に十分な効果が得られなかった	商工観光課
指標② 昭和ロマン蔵有料施設入館者数 (事業開始前: 53,000人)	57,700人	39,439人												
指標③ インパウンド団体ツアーの客数 (事業開始前: 10,000人)	15,000人	1,441人												
指標④ 昭和の町滞在時間 (事業開始前: 99.6分)	129.6分	96.9分												

デジタル田園都市国家構想交付金【推進タイプ(旧地方創生推進交付金)】 令和4年度事業 実績検証シート

No	① 交付対象事業の名称 (創生プランでの分類)	② 事業の概要	③ 事業の概要(経費内容)	④ 交付金の種類	⑤ 事業費	⑥ 交付金充当額	⑦ 本事業における重要業績評価指標(KPI)		⑧ 本事業終了後における実績値		⑨ 実績値を踏まえた事業の今後について		⑩ 外部有識者からの評価	事業担当課	
							指標	目標値 (R5.3)	実績値 (R5.3)	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由			
6	「恋人の聖地」広域市町村連携による関係人口拡大に向けたバーチャルコンパクトシティ事業 (基本目標: 皿ひとを呼び込み活力創生)	『恋人の聖地』を有する市町村のうち、広域連携によるバーチャルコンパクトによる地方創生事業に賛同する14市町村が連携し、次の事業を実施する。 ①広域市町村連携シティプロモーション事業(SNS等の活用)WEB上に14市町村共同の「仮想シティ」(バーチャルシティ/ポータルサイト)を開設し、全市町村の関連事業コンテンツ(定住促進、子育て、農林水産、観光、その他事業)を1ヶ所へ集約。複数の主管情報を利用者視点で魅力や付加価値をピックアップ企画編集、ゲーム感覚で市町村情報に触れるアクティビティを埋め込み、地方志向者の「仮想市民登録」促進を図る。 ②観光交流促進強化連携事業 14市町村が複数の観光資源を周遊させる仕組みづくり、リピーターを飽きさせない地域の新たな魅力の創出と発信、観光に対する消費者の価値観や社会環境の変化に対応するニューツーリズム・マイクロツーリズム推進事業を実施。 ③若者・子育て世代交流促進事業 「仮想シティ」(バーチャルシティ/ポータルサイト)における「仮想市民登録者」のニーズ把握を基に、若者やファミリー層を惹きつけるICTを活用したアプローチ、各資源を結びつける仕掛け、まちの魅力や知名度が向上するコンテンツの造成に取り組む。 ④市町村のブランド強化・収益構築のハード事業	①市町村連携共同基盤運営事業 【負担金】2,500,000円 (1)連携ポータルサイト基盤運営事業 (2)プラットフォーム企画展開事業 (3)共同PR・プロモーション事業 (4)事務局・部会等運営費 ②観光交流促進強化連携事業 19,716,278円 (1)プッシュ型情報発信連携HP改修事業等 (2)恋叶ロード沿線真玉地域活性化事業等 (3)PR広告費等 ③若者・子育て世代交流促進事業 21,261,134円 (1)高校生のための学びの21世紀塾事業等 (2)婚活推進事業等 (3)移住フェア ④デジタル推進ハード事業 (1)関係人口拡大デジタルサイネージ整備事業(岩崎交差点)	推進	98,088,667	48,647,412	指標①	観光入込数(人) 【R4増加分】	70,000	97,605	地方創生に非常に効果的であった	事業の継続	連携事業全体ではKPIを達成している。引き続き、観光交流促進事業や、若者・子育て世代交流促進事業は、市役所の各課横断的な連携はもとより、全国14の参画市町村と広域連携も図りながら、さらなる誘客促進に取り組む。	地方創生に非常に効果的であった	商工観光課
指標②	仮想市民登録数(人)	1,820	1,917												
指標③	地方志向者の魅力指数(%)	33	51												